

事業所における自己評価結果（公表）

公表:令和 5 年 8 月 29 日

事業所名 たすきつず しおみ

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切である	7			・指定基準を満たしている。 ・事業所の平米数は都内でも屈指の広さだと認識している。	療育スペースの広さを活用し、様々な活動 に取り組んでいく。
	②	職員の配置数は適切である	5	2		・東京都の基本人員を遵守している。 ・加配職員の配置をしている。	安心して通所して頂けるように基準を遵守 していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の 配慮が適切になされている	3	4		・段差はないが、扉の開閉幅に制限がある。	事業所は1階に位置しており、玄関や各部 屋・トイレなどに段差はございません。 必要に応じた、バリアフリー化を検討して いく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル (目標設定と振り返り)に、広く職員が参画 している	6	1		・公休日などの職員でも後日確認を取れるように記録を残している。 ・定期的に会議などを行って改善に繋げている。	より良い環境を整えるために職員間での 認知のずれがないように「伝えていく」こと を更に意識して業務改善に取り組んでい く。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアン ケート調査を実施して保護者等の意向等を 把握し、業務改善につなげている	6	1		・職員全体で共有、質の向上に向けて話し合い、改善に努めております。	職員全体で共有、話し合いをしながら更なる 質の向上、改善をしていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報や ホームページ等で公開している	5	2		・ホームページにて公開しております。	
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげている	3	1	3	・今年度、第三者評価を受審する。	事前打ち合わせを7月に終え、9月より開始 いたします。評価がまとまり次第、改善が必要なものを 対応していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会 を確保している	5	2		・適宜研修を実施しております。 ・法人内で合同の研修を行っております。	定期的な研修を実施し支援の質の向上を おこなっていく。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者の ニーズや課題を客観的に分析した上で、 放課後等デイサービス計画を作成している	7			・3ヶ月に一度個別支援計画の見直し、作成、面談を行っております。	定期的面談を行いながらより一層ニーズ に沿った計画の作成を行えるように工夫 する。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準 化されたアセスメントツールを使用している	7			法人で作成したアセスメントツールを使用しております。	アセスメントツールを活用しより情報共有 を図れるように工夫する。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	5	2		活動リーダーを中心として毎月、翌月のプログラム案を各職員で話し合いながら作成しております。	引き続き、様々な活動を提供できるように チームで活動プログラムの立案をしてい く。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫して いる	4	3		調理、外出、制作、買い物など、曜日で固まらないように作成しております。	様々な体験や経験を実施できるように定期 的な話し合いの場を設けていく。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ 細やかに設定して支援している	7			長期休暇には調理活動など平日にできないプログラムを設定するなど工夫しております。	今後とも療育時間などを考慮し、活動内容 を工夫していく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動 を適宜組み合わせ放課後等デイサービス 計画を作成している	7			集団活動を中心としつつ、個々の課題に応じ支援計画作成や関わりを設けている。	「集団活動」を主としているが、児童一人ひとりに 目を向け、その日のコンディションや 状況に応じて対応している。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の内容や役割分担に ついて確認している	6	1		休日など早い時間での送迎が始まる全員、顔を合わせた打ち合わせが難しいこともあり、共有ノートなどを作成したり、残った職員が伝えるように工夫しております。	口頭、ノートの両方を活用しながら情報共有 を細かにおこなう。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、 その日行われた支援の振り返りを行い、 気付いた点等を共有している	7			送迎後は必ず終礼を行い、その日あった出来事を振り返る時間を設けている。	円滑な情報共有を図るよう引き続き終礼の時間を確保しながら、必要な情報を 漏れなく伝えられるように工夫していく。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを 徹底し、支援の検証・改善につなげている	7			・支援実施記録を個別に記入しております。	日々の支援実施記録を児童ごとに記入することにより、それを基にモニタリング会議や 課題、目標の共有につなげることが出来ている。今後とも継続して実施記録を作成し 支援の質向上にむけて工夫していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	⑱ 定期的にモニタリングを行い、放課後等 デイサービス計画の見直しの必要性を判断 している	6	1		・3ヶ月一度個別支援計 画の見直しを行って おります。	定期的なモニタリングを行い、情報共有を 図り、計画の見直しをおこなっていく。
	⑲ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合 わせて支援を行っている	5	2		・偏りが出ないように毎月の プログラムの中で様々な基 本活動を盛り込んでいる。	様々な基本活動を盛り込みながら、ご利用 者様の「将来の選択肢」を広げて行ける よう多岐に渡った支援をおこなっていく。
	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者 会議にその子どもの状況に精通した最も ふさわしい者が参画している	4	3		電話でのモニタリングが主 になっており、サービス担当 者会議が開かれることが少 なくなっているが、機会が あった際には管理者等が参 加している。	電話でのやり取りが主となっているが、各 機関と情報の共有・連携が出来ている。会 議に参加できる機会があれば積極的に参 加し、更なる連携を図っていきます。
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定 等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、 連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時 の連絡）を適切に行っている	7			・下校時刻表など保護者か ら頂くなどやり取りを行っ ております。 ・時間や予定に変更など起 こった際には学校や保護者 の方と密にやり取りして おります。	円滑に支援を行っていくよう工夫し、情 報の共有、細やかなやり取りを継続して いく。
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合 は、子どもの主治医等と連絡体制を整えてい る	1	5	1	・医療的ケアが必要な児童 の受け入れは行っておりま せん。	
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、 認定こども園、児童発達支援事業所等との 間で情報共有と相互理解に努めている	2	5		・保護者の了承を得て、相談 支援事業所や児童発達支 援事業所と情報の共有を 図っております。 ・現状、保育所や幼稚園と の情報共有の機会がない。	就学前に通所していた児童発達支援施設 や相談支援事業所などの連携は行えて いるが、保育園や幼稚園などとの連携は 持っていない。 今後はケースによって保護者同意の元、 確認をおこなっていく。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所 から障害福祉サービス事業所等へ移行する 場合、それまでの支援内容等の情報を提供 する等している	2	2	3	・現状、該当の児童がおりま せん。	卒業時には、ご本人様・保護者の同意の もと、連携を図っていく。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援 センター等の専門機関と連携し、助言や研修 を受けている	6	1		・児童発達支援センターの 方と連絡を取り合い連携を 図っている。 ・来所して頂き、活動の様子 などを見て頂いている。	今後とも連携を継続していく。 また、研修などに機会があれば積極的に 参加していく。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害 のない子どもと活動する機会がある	2	5		予定を合わせた交流機会 などは設定できていないが、 近所の公園を活動で利用し た際など地域の障害のない 子どもと一緒に遊ぶなど 交流の場面があった。	ご利用者様からの様々なニーズを鑑み て、交流の場の企画や調整の機会を検討 していく。
	㉗ (地域自立支援) 協議会等へ積極的に 参加している	1	5	1	・現状、参加の機会や案内 がない。 ・機会があれば参加したい。	会員になっているが案内が届いておらず、 機会があれば積極的に参加していく。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 を持っている	7			・送迎時や連絡帳を通してご 利用者様のご様子や状況を 共有している。 ・個別面談時にも情報共有 の機会を設けている。	積極的に情報共有を図り、共通理解を深 めていけるように工夫する。
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、 保護者に対してペアレント・トレーニング等の 支援を行っている	2	5		・面談を通して提案や助言を 行っている。	面談を通して提案・助言を行っている。日 程を設けて講演会を開くなど出来ていない 為、ご利用者様からの様々なニーズを鑑 みて、交流の場の企画や調整の機会を検 討する。
	関係機関や保護者との連携	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等 について丁寧な説明を行っている	7			・契約時に保護者の方に説 明している。
㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に 適切に応じ、必要な助言と支援を行っている		7			・その場で回答できない場合 は一度持ち帰らせて頂き、 職員間で共有し後日伝える 等、助言や支援を行ってい る。 ・個別面談時に機会を設け ております。	情報共有の機会を設け必要な助言・支援 をおこなう。
㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等 を開催する等により、保護者同士の連携を支援 している			3	4	・保護者参加型の活動 (夏祭りなど)を設ける等 している。 ・保護者会という名目で 開催はない。	父母会の実施は行っていないが、イベント に招いた際に交流をおこなっている。 父母会について、利用している皆様へ アンケート実施を検討する。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	7			・保護者の方から頂いた意見等は職員全体で共有し質の向上に努めている。	苦情等については対応の窓口を設けている。現在、苦情自体はないが、引き続き安心してご利用いただけるように丁寧な説明をおこなう。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	2	5		・会報という形で作成はしていない。 ・毎月プログラムカレンダーを配布しており、活動概要を伝えている。	会報は、職員負担も考慮して行っていない。 毎月のプログラムカレンダーと補足説明の配布を継続しておこなっている。
	③⑤	個人情報に十分注意している	7			・注意している。 ・個人ファイルなどしっかりと鍵付きの書棚などに保管している。	引き続き、注意して取り扱っていく。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			・文字や言葉だけでなく、絵カードなどを用いて伝わりやすいように工夫している。	ルビを振る、絵カードなど視覚支援等ツールを使用しながら分かり易く伝えていけるように工夫する。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		4	3	・コロナ禍等で難しかった。 ・規制も少しずつ緩和されてきているので関わりを持ると良い。	買い物体験や外出活動を通して地域交流を図っている。また、コロナ禍も少しずつ落ち着いてきている為、外部の講師を招いて活動を展開したり、開かれた運営を行えるようにしていく。今年度、美術講師の派遣や都が行っている運動習慣事業に選出された為、月に一度外部から運動の講師が来所して活動を行っている。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	3		・研修などを通して共有している。 ・保護者にマニュアルの存在は伝えているが詳しい中身まで伝えきれていない。	各種マニュアルは整備済み、研修や案内を通して周知していく。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6	1		・活動として「防災訓練」をしている。 ・地域にある防災について学べる施設で体験する機会を設けている。 ・公園への外出などの際に避難ルートを歩いて公園まで向かう等、普段から取り入れている。	今後も防災訓練を定期的におこない、更なる周知を図っていく。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	6	1		・定期的に研修を実施。	今後も研修など実施し、理解を深める機会を設ける。 関連ニュースの情報共有も行いながら様々なパターンや例を把握していく。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	3		・契約時や面談時に管理者より説明している。 ・個別支援計画にも記載している。	・身体拘束を行った事例はない。 ・今後も身体拘束に至らないよう、安心・安全に過ごせる環境を整えていく。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	3		・保護者より情報を頂き共有している。 ・医師の指示書までは貰っていない。	現在、医師の指示書までは受け取っていない。 保護者と情報共有をしながら、事例により必要があれば医師の指示書の提出を依頼していく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している		5	2	・書式はある。 ・口頭での共有になってしまっている。	終礼、ミーティングで口頭により情報共有をおこなっている。 様式はある為、活用方法を再検討する。

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。